

——「一二・八 真珠湾奇襲攻撃」と「九・一一テロ」に思う——
戦争もテロもない平和な世界を！
——人間の起こす戦争は、人間の手でやめられる——

◎ 六一年前の一二月八日の夜明け前

暗闇の中を、日本海軍はハワイ・オアフ島に忍び寄った

米艦隊も、軍人も、住民もぐっすりと眠っていた

真珠湾攻撃は、ほとんど抵抗もなく

一方的な奇襲だった

国家によるテロだった

空母、戦艦などの米艦隊は壊滅的打撃を受け

軍人、住民ら多数が死んだ

リメンバー・パールハーバー（忘れるな、真珠湾を！）

アメリカ人は決起し、米軍は大反撃に転じた

四年間の攻防をへて

日本列島は空襲にさらされ、町々は焼き払われ、家を失い、民は死傷した

広島・長崎に原爆が投下されるに及んで、無条件降伏し敗戦を迎えた

心ある人々は、天からの裁きが下ったと思つた

こうして、世界平和を願う心が、戦争放棄の憲法第九条として結実した

◎ 昨年九月一日の真つ昼間

テロリストにハイジャックされた旅客機が

世界貿易センター・ペンタゴンめがけて突入した

高層ビルが崩れ落ちる姿まで

一部始終が全世界の茶の間に放映された

米国人の中には、日本の真珠湾攻撃を思い出した人々がいたという

米国はなぜテロの標的にされたのか？

世界一の軍事大国・経済大国の力を誇示して

自分の国だけの繁栄を求め

地球環境が悪くなるうが知つたことではないという態度！

核兵器をちらつかせる「ならず者」！

何でもありの物質文明を謳歌（おうか）するエゴイズムのアメリカ！

貧しい国の人々の目に、そう映つたのではないか

テロは米国のエゴを標的にしたのではないか

と、我々は考える

◎ しかし、ブッシュ大統領は、そうは考えない

テロへの凄まじい報復攻撃は、アフガンの罪なき民衆を虫けらのように殺し

た 今度は、イラクをやつつけるという

◎ 戦争によって世界平和は実現しない

軍備世界に未来はない

軍備を捨てよう！

戦争を放棄しよう！
世界各国の軍事予算を
人類の貧困と飢餓と病人を救うために、ささげよう
地球環境を守るためにささげよう
地球を戦争もテロもない平和な住み家とするために

二〇〇二年十二月八日（日）第四三〇回・憲法を守る平和行進

浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市紺屋町三〇一〜十五